

NEWS RELEASE

2023 年 2 月 15 日
日本工営株式会社
株式会社マクニカ
芙蓉総合リース株式会社
芙蓉オートリース株式会社

**日本工営とマクニカ、茨城県常陸太田市の中心市街地で自動運転 EV バスの実証実験を実施
芙蓉リースが車両提供で協力**

日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：新屋 浩明、以下 日本工営）と株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下 マクニカ）は共同で、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田 寛明、以下 芙蓉リース）および芙蓉オートリース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：長野 克宣、以下 芙蓉オートリース）から提供された自動運転EVバスを活用した実証実験^{*1}（以下 本実証実験）を茨城県常陸太田市で実施します。

本実証実験は、将来的な常陸太田市中心市街地への自動運転EVバス導入を見据え、同地区における自動運転EVバスの活用可能性について検証するものです。常陸太田市中心市街地にて、ハンドル・アクセル・ブレーキのない NAVYA社製自動運転EVバス「ARMA（アルマ）」^{*2}を運行するとともに、常陸太田市役所内に設置するディスプレイで遠隔監視を試行的に実施します。

自動運転 EV バス ARMA（アルマ）



本実証実験において、日本工営は、これまでの自動運転移動サービスに係る実証実験運営等の実績を生かし、自動運転バスの運行に係る準備、運営、効果検証を行います。

マクニカは、自動運転EVバスの運行、自動運転走行に必要なデータ取得・セットアップ、技術的資料・取得データを提供します。また、車両の走行データをマクニカ製遠隔監視システム「マクニカモビリティデータプラットフォーム^{*3}」に連携させることで、自動運転EVバスの走行情報をリアルタイムに離れた場所で確認することが可能になります。

芙蓉リースおよび芙蓉オートリースは、マクニカと3社で業務協定を締結した「自動運転実証実験支援サービスプログラム^{*4}」により自動運転EVバスを提供します。

【本実証実験の概要】

- 日 程：2023年2月17日（金）～2月23日（木・祝）
- 時 間：8時45分～16時30分頃（1日14便程度）
- 自動運転車両：自動運転EVバス ARMA（フランスNAVYA社製）
- 走行ルート：常陸太田市役所とJR常陸太田駅の間を往復するルート（片道約1.3km）



- 運行ダイヤ：下表の時間帯に運行します。

	常陸太田市役所	⇄	常陸太田駅
1便	08:45	⇒	09:05
2便	09:30	⇐	09:10
3便	09:35	⇒	09:55
4便	10:30	⇐	10:10
5便	10:40	⇒	11:00
6便	11:25	⇐	11:05
7便	11:30	⇒	11:50
8便	12:20	⇐	12:00
	充電		

	常陸太田市役所	⇄	常陸太田駅
9便	13:30	⇒	13:50
10便	14:20	⇐	14:00
11便	14:40	⇒	15:00
12便	15:25	⇐	15:05
13便	15:40	⇒	16:00
14便	16:30	⇐	16:10

- 参加方法：実験へのご参加については、本実証実験のHPをご確認ください。
<<http://autonomouscar-hitachiota.jp/>>

※スタッフと試乗者の検温、乗車前の車内アルコール消毒など、十分な新型コロナウイルス感染症対策に留意して実施します。

※ご来場の際はマスク着用にご協力ください。

*1：常陸太田市（企画部 企画課）が公募した「令和4年度 常陸太田市街地自動運転導入調査業務」を元にした実証実験。（落札事業者は日本工営とマクニカ）

*2：自動運転EVバスARMA（フランスNAVYA社製）

ARMAは自動運転EVシステムを搭載した自動運転シャトルバスです。EV（電気自動車）仕様となり、1回の充電で約9時間（100km）の自動走行が可能です。

全長：4,750mm

全高：2,650mm

全幅：2,110mm

重量：2,400kg

車両総重量：3,450kg

乗客人数：最大7人

動力源：電動モーター

最高速度：18km/h（運行時は平均速度10km/h程度）

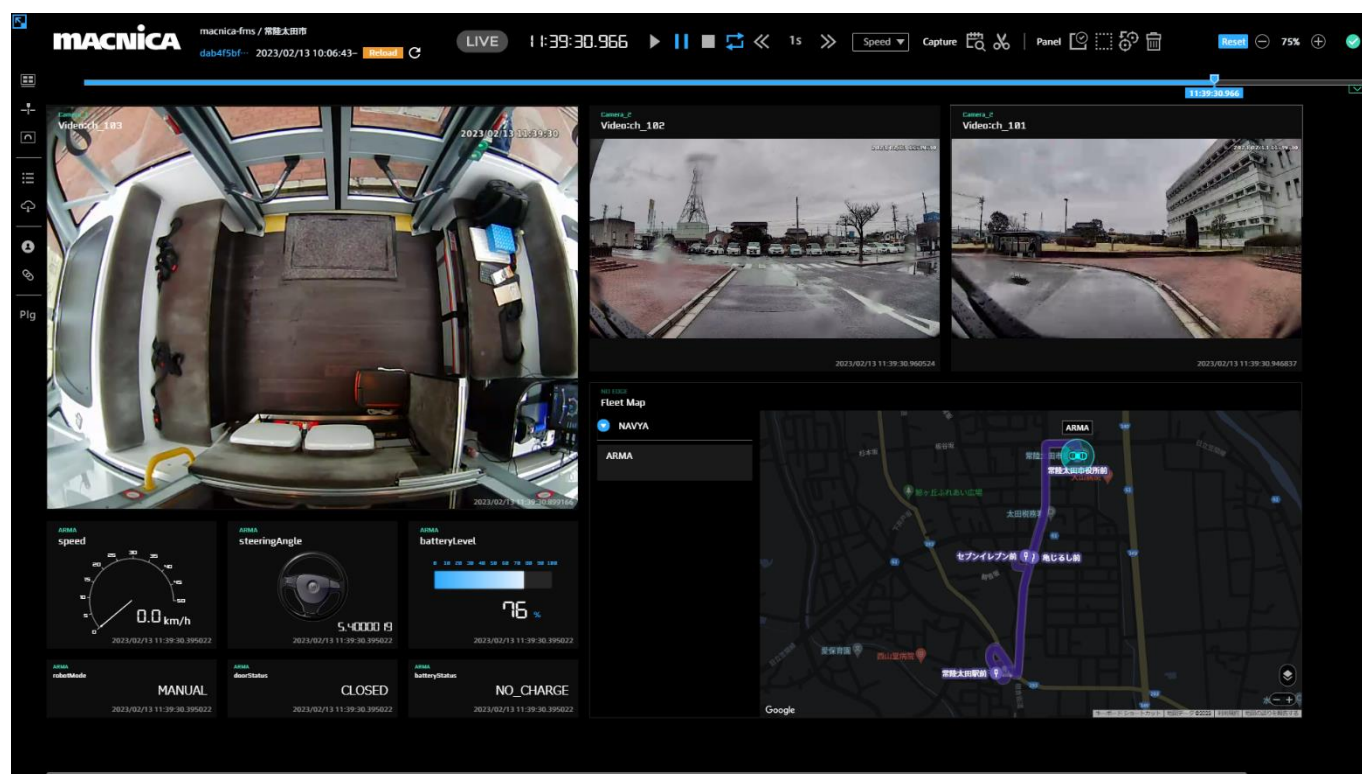
自動運転レベル：レベル2

その他：緊急時は同乗のドライバーが手動介入



*3：マクニカモビリティデータプラットフォーム(遠隔監視システム)

車両に取り付けられたセンサー(GPS、カメラ等)と車両のCAN情報(車速、回転数、ステアリング舵角等)を収集し、高品質な伝送方式を用いてクラウドへデータを保存することで、監視者1人が遠隔からクラウドにアクセスし、リアルタイムで複数車両のモビリティの状況確認ができます。その他、蓄積されたデータから過去の状況確認、データ分析、AI活用にも応用できます。遠隔監視システムの活用により、社会課題の働き手不足の解消を目指します。



*4：自動運転実証実験支援サービスプログラム

マクニカと芙蓉リースおよび芙蓉オートリースが共同で構築したサービスプログラム。

詳細は以下URLをご参照ください。

<https://www.macnica.co.jp/business/maas/news/2021/136501/>

※本文中に記載の製品名は、各社の商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがあります。

<本実証実験に関するお問い合わせ先>

日本工営株式会社 交通政策事業部 交通都市部
MAIL : ml-autonomous-hitachiota@dx.n-koei.co.jp

株式会社マクニカ モビリティソリューション事業部
TEL : 045-470-9118
MAIL : auto-solution@macnica.co.jp

日本工営株式会社 について

日本工営グループは、世界中の人々の安全・安心を支える国内 No.1 の建設コンサルタントです。1946 年の創業以来、日本の建設コンサルティングのリーディングカンパニーとして社会基盤の整備を事業として社会課題解決に携わり、160 以上の国と地域において国づくり・人づくりの根幹に関わるサステナブルなビジネスを展開しています。詳細はWebサイト (<https://www.n-koei.co.jp/>) をご覧ください。

株式会社マクニカ について

マクニカは、1972 年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス・ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。当社は、横浜に本社を構え、世界24か国/地域80拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。詳細はWebサイト (<https://www.macnica.co.jp/>) をご覧ください。

芙蓉総合リース株式会社・芙蓉オートリース株式会社 について

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした新中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。また、経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに「モビリティ」を位置付け、車両領域と物流領域を中心に、パートナー連携を軸としたワンストップ型サービスを国内外で展開することにより新たなビジネス領域を拡大してまいります。詳細はWebサイト (<https://www.fgl.co.jp/>) をご覧ください。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

日本工営株式会社 <https://www.n-koei.co.jp/>
コーポレートコミュニケーション室 e-mail : c-com@n-koei.co.jp
〒102-8539 東京都千代田区麹町5-4

株式会社マクニカ <https://www.macnica.co.jp/>
コーポレートマーケティング統括部 広報室 宮原 e-Mail : macpr@macnica.co.jp
〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 マクニカ第1ビル

芙蓉総合リース株式会社 <https://www.fgl.co.jp/>
コーポレートコミュニケーション室 担当：木村・山崎 TEL 03-5275-8891
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー

芙蓉オートリース株式会社 <https://www.fuyoauto.co.jp/>
EVビジネス部 TEL : 03-5275-2950
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1-1 住友不動産麹町ガーデンタワー